



# 学校だより 1月

令和6年1月10日

横浜市立芹が谷南小学校

学校Webページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/serigayaminami/>



## 子どもたちが活躍する未来

校長 大島 恵子

新年あけましておめでとうございます。お正月はゆっくりと新しい年を迎えられたことと思います。一方、能登半島地震により犠牲となられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、被災されたすべての方々に心よりお見舞い申し上げます。令和6年が子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様にとりまして希望に満ちたよい年になりますよう心からお祈り申し上げます。

12月のある日、廊下を歩いていると6年生の子どもたちが外国語の学習をしている場面に出会いました。自分でテーマや具材を考えたオリジナルカレーを作りたいことを想定して、オリジナルカレーについて友達や先生と英語で会話をするという学習活動でした。私などは、まず英語で会話をするということだけでかなりのハードルの高さを感じてしまいましたが、子どもたちは当たり前のように自分の選んだ具材を英語で友達に紹介したり質問をしたりして会話を楽しんでいました。また、6年生の児童がAETの先生と1対1でオリジナルカレーについてやり取りをしているところも見せてもらいました。会話の一部をご紹介します。

6年生「私のカレーはスイートカレーです。友達のために考えました。」

AET「どうしてスイートカレーにしたの？」

6年生「私の友達が甘いものが好きだから。」

AET「あなたも甘いものが好きなの？」

6年生「いいえ。私はしょっぱい味の方が好きです。」



この台本のない会話を笑顔で楽しみながら続けている様子に思わず拍手を送りました。思い起こせば私が初めて英語にふれたのは中学校に入学してから、英語の授業の中でした。教科書に出てくる「This is a pen.」というより「でいす いず あ ペン」(このニュアンス伝わりますでしょうか)という雰囲気英語を必死で覚えていたものです。即興で会話をするなど考えたこともありませんでした。時代は変わり、今は小学生も英語を使い、コミュニケーションを楽しむ学習を行っています。今回の6年生の学習は会話を楽しむ学習なのでワークシートには振り返りとして次の5つのポイントが示されています。①スマイル②アイコンタクト&うなずく③クリアボイス④聞かれたら即座に返す⑤自分からも質問する 子どもたちはポイントを理解して即興の会話を楽しむ力を身に付けています。きっと今の子どもたちが大人になる頃には、今よりもさらに英語をコミュニケーションツールの一つとして使いこなし、多くの人とかかわり世界を広げていく時代が来るのだらうと思います。頼もしい限りです。

子どもたちが活躍する未来に思いを馳せ、一人ひとりが夢や希望をもって日々を過ごせるよう令和6年も職員一同努めてまいります。今年もどうぞよろしく願いいたします。